

国際ロータリー第2790地区 第8グループ

創立1957年3月23日

銚子ロータリークラブ会報

第3301号 2025年3月19日(水)発行



例会場 銚子商工会館5階大会議室 (銚子市三軒町19-4)

TEL0479-23-0750 FAX0479-25-8789

本日のプログラム

「時代の移り変わり」

銚子税務署 署長 鈴木 邦典様

前回例会報告 (3月12日)

点 鐘：寺内 忠正会長

ロータリーソング：我等の生業

ビジター紹介：

銚子市消防本部 消防総務課長

消防司令長 卯月 紀明様



会長挨拶

皆さんこんにちは。

先日のIM参ご苦勞様でした。実はIMの前に第8グループ各会長幹事が伊藤ガバナー補佐に招集かけられまして、財団資金管理・寄付推進委員会の荒井委員長がおられました。レートの関係も含め最近目標にいきにくい事などのお願いのお話でした。銚子RCはR財団寄付が目標150ドル/1名に対し、現在61ドルだそうです。高橋会員に言っていただければ、すぐですので、皆さまよろしく願いいたします。

IMの講師、ラジオパーソナリティーきゃんひとみさん！いかがでしたでしょうか？私的には、bayFMは開局時から聞いており、ラジオから流れる元気な“きゃんひとみですっ！！”が思い出さ

れ、その本人が目の前にいるのが不思議な感じでした。もち写真も撮らせていただきました！！

一つ嬉しいご連絡が来ました。

拝啓、寺内会長様

オーストラリアのアデレードからご挨拶申し上げます。私はギルバート・ジェンと申します。1975年(昭和50年)、私はオーストラリアのアデレードからロータリー交換留学生として銚子ロータリークラブにホストされ、プロスペクト・ロータリークラブがスポンサーとなりました。

私はその一年間を大里庄治郎氏の家族と暮らし、銚子市立高等学校に通いました。毎週水曜日、ロータリークラブの会合に出席し、銚子ロータリークラブのメンバーとその家族はとても親切でした。最高に素晴らしい一年でした。

私は1976年1月にアデレードに帰り、アデレード大学で日本語を学び始めました。その後、高校の日本語教師になり、それが40年近く続きました。今年はその日本の一年間の50周年です。この記念日を記念するために、今年の10月に夫と一緒に日本旅行を計画し、銚子を訪問しようと思っています。銚子ロータリークラブの現在の会員にあいさつと感謝の気持ちを伝える機会をいただければ幸いです。

銚子ロータリークラブの会議スケジュールにこのリクエストに対応できる時間はありますか。日程はまだはっきりきまっていませんが、10月中旬からいつでも銚子に行くことができます。

ご連絡をお待ちしております。

ギルバート・ジェンより 2025/3/8

2024-25年度ステファニーA. アーチックRI会長 銚子RC Email d2790@choshi-rotary.club



The Magic of Rotary

製作◇広報・会報委員会

HP <https://www.choshi-rotary.club>

東川祐太郎 大岩將道 須永清彦 林紀宏◇



当時の会員は一人もいらっしやらないようですが、先日大里会員に確認したところ、“もち、覚えてる”という事でした。まだ、ご返事は出来てませんが、10月の来日に向けて日程調整いたしますので、次年度よろしくお願ひいたします。

幹事報告

1. ローターアクト地区行事 SDGs 運動会ご案内
2. R L I 第 1 回ブラッシュアップセミナー開催のご案内
3. 社会奉仕委員会アンケート改訂版
4. 令和 7 年大船渡大規模山林火災被害支援について
…ガバナー事務所
5. 令和 7 年春の全国交通安全出動式及び交通安全キャンペーン等の参加について
…銚子市交通安全都市推進協議会

ニコニコBOX なし

会員の記念日

結婚記念日 田中 英子会員(3月6日)
猿田 正城会員(3月10日)
入会記念日 林 紀宏会員(3月6日)
創業記念日 泉 英伸会員(3月9日)

卓 話

「消防団の現状及び 救急車の適正利用について」

銚子市消防本部 消防総務課長
消防司令長 卯月 紀明様



銚子ロータリークラブの皆さん、こんにちは。私は銚子市消防本部消防総務課長の卯月と申します。本日は例会におけます卓話のご依頼を受け、伺うこととなりました。しばらくの間、お付き合いのほど、よろしくお願ひいたします。

ここで改めまして、銚子ロータリークラブの皆様には、平素より銚子市の消防行政にご理解・ご協力をいただき心からお礼を申し上げます。

本日は、タイトル「消防団の現状」及び「救急車の適正利用」の2件につきましてご説明をさせていただきます。貴重なお時間ですので、早速始めさせていただきます。

はじめに、「消防団の現状」についてですが、皆さんは消防職員と消防団員の違いはご存知でしょうか。消防職員は、全国の市町村又は一部事務組合などが、消防本部という組織を設置しておりますが、その消防本部ごとの職員採用試験を受けて合格し

た者が勤務する地方公務員となります。

それに対し、消防団員は、自営業や農業などの個人事業主や、会社員などのいわゆるサラリーマンの方々が、自らの職業とは別に、火災を始めとする各種災害現場での活動や、日常的に訓練などを行う非常勤の特別職の地方公務員となります。

消防団員に任命されますと、災害出動への報酬はもとより、毎年3月に年額報酬として36,500円の支給があり、また災害現場での活動によりケガをした場合などに、医療機関での治療費を補填する公務災害補償や、5年以上在籍した場合には退職金が出る制度となっています。

消防団員の人数ですが、全国で見ますと、昭和31年には183万人いましたが、毎年のように減少を続けまして、平成2年には100万人を割り込んで99万6千人となり、直近の令和6年には74万6千人と大幅な減少となっております。

銚子市においても例外ではなく、昭和35年には865人の団員が在籍していましたが、年々減少を続け、平成9年には597人、令和2年には489人、直近の令和6年には369人となり、昔と比較しますと半分以下となっています。

消防団員の減少に歯止めがかからない理由としては、少子高齢化等により若年層の人数が減少しており、新たに入団してくれる方が不足していること、もう一つは在籍年数の長期化に伴い、自分の職業と消防団活動の両立が難しいことなどが理由と考えられます。

消防団の活動としましては、日頃から実施する訓練、火災現場での放水や人命救助、台風等の風水害による水防活動などがありますが、団員が減少するという事は、管内において同時多発的に災害が発生した場合のマンパワーが不足しますので、被害の拡大が危惧されることです。

銚子市消防団では、これまでに消防団員の確保を目的として、様々な取組みをしてきました。平成24年4月には機能別消防団員制度を創設し、消防団員のOBに災害支援隊として登録してもらい、火災や台風等の災害発生時の支援活動をする事。もう一つは、千葉科学大学の学生及び一般の女性団員を募集し、大規模災害発生時における情報収集や避難誘導、避難所の運営補助などを実施することとしました。

また、平成27年9月には、女性と学生のみを集めた第11分団を創設し、機能別消防団員とは別に、正規の消防団員(基本団員)として配置し、災害発生時のみではなく、日頃から訓練を実施したり、火災予防の普及啓発活動を実施しています。

消防団員の確保は喫緊の課題となっておりますが、広報ちょうしを活用した消防団活動のPRや、各種イベントにおける広報活動などにより、消防団活動への理解及び消防団員募集の案内を実施していますが、なかなか効果が現れないのが現状で、今後も引き続きPR活動を実施していきたいと考えてい

ます。

消防団員の減少に伴い、千葉県庁消防課では、令和5年度に千葉県消防団活性化検討会を立ち上げて、県内の消防団長、消防団事務担当の消防職員、消防関係の有識者などのうち12名を委員とした会議を開催し、対策を検討しました。検討事項は大きく分けて2つあり、1つは消防操法大会について、もう1つは消防団活動についての2点について検討しました。

1つ目の消防操法大会についてですが、火災等の災害現場において、被害を最小限に止めるためには、1分1秒を争う迅速な活動が求められることから、ホース延長や消防ポンプ操作などの正確性とタイムを計測する消防操法大会を開催しています。この大会に向けて、それぞれの消防団員が仕事終わりに集まり、夜間に2～3時間の訓練を実施するため、それが消防団員の負担になっており、減少に歯止めがかからない一因と考えられます。

2つ目の消防団活動については、消防団がどのような活動をしているか広報をして、家族や職場などに理解を求めることによりモチベーションの向上を図ることや、風通しの良い環境づくりとして、若手団員と幹部・中堅団員のコミュニケーションを取ることや、団員が声を上げやすい環境を作ること、更には、活動の負担軽減として、消防出初式や歳末警戒などの行事を時間短縮、簡略化を図ることなどを、検討結果として取りまとめを行い、各市町村が重点的に取り組むべき事項として、千葉県知事名で各市町村長あてに通知文が発出されました。

銚子市では、この通知文の内容を消防本部と消防団幹部で協議を実施して、課題を整理し、できるところから始めて行くことを決定し、消防団員の確保を進めて行くことになりました。

東日本大震災や能登半島地震では、地元の消防団員が活躍し、多くの人命を助けたという実績があり、今後、発生が危惧されています南海トラフ巨大地震や、首都直下地震などがいつ起きてもおかしくない状況にありますので、大規模災害に備えた消防団員の確保は、今後の大きな課題となっています。

一人でも多く入団してもらえるように努力を重ねて行きたいと考えています。以上が「消防団の現状」となります。

続きまして、「救急車の適正利用」についてご説明します。消防本部・消防署の業務で大きなウエイトを占めているのが救急業務です。

令和5年中の全国の救急出動件数は、763万8,558件となっていますが、対前年比で40万8,986件の増加で、率にしますと5.7%の増加となっています。これは1日平均では約2万1千件出動し、約4.1秒に1回の割合で救急隊が出動したことになります。

次に、救急車による搬送人員は、664万1,420人で、対前年比42万4,137人の増加で、率にしますと6.8%の増加となっています。これ

は国民の19人に1人が救急隊によって搬送されたこととなります。

次に、救急車による搬送の原因となった事故種別をみますと、急病が449万5,904人で全体の67.7%、一般負傷が105万9,922人で16.0%、交通事故が36万549人で5.4%などとなっています。

次に、救急隊の数ですが、令和6年4月1日現在、全国で5,415隊が活動しており、対前年比56隊増加しています。

救急隊員は、人命を救うという重要な任務に従事しますので、新たに救急隊員になる場合には、250時間の救急業務に関する講習を修了した者と決められています。

令和6年4月1日現在、この資格要件を満たす消防職員は全国で約13万4千人いますが、このうち約6万7千人が、救急隊員として救急業務に従事しています。残りの6万7千人は、資格は持っていますが、消防隊や救助隊だったり、管理職になって日勤での勤務に従事している職員もいます。

次に、救急救命士の人数ですが、令和6年4月1日現在、国家試験に合格し資格を取得した消防職員は4万4,919人で、対前年比1,131人増加しています。このうち3万1,014人が救急救命士として活動しており、年々着実に増加しています。

次に、銚子市の状況ですが、歴史を振り返りますと、昭和26年4月に救急車1台を本署へ配置して救急業務を開始しました。

昭和43年11月には市内の団体より救急車の寄贈があり、2台体制が開始され、当時は年間の出動件数が500件前後を推移していました。

その後、出動件数は徐々に増加し、昭和49年には1,000件を超え、平成11年には2,000件を超えて、令和4年には3,000件の大台に突入しており、令和4・5・6年と3年連続で3,000件を突破しています。

この間に、救急車の台数は2台増車となり、小畑町の東部分署と野尻町の西部分署にも配置して、現在は4台体制で救急業務を行っています。

直近の令和6年の年間出動件数は3,267件で、搬送人員は2,954人ですが、この内、入院の必要が無いいわゆる軽症患者は1,311人で、率にすると44.4%になり、入院が必要な重症患者及び死亡が289人で9.8%ですので、比較しますと、軽症患者が4倍以上となっている状況です。

また近年は、地球温暖化によるものと思われ、熱中症患者の救急搬送が増加しています。

平成19年8月、埼玉県熊谷市と岐阜県多治見市において、当時の国内最高気温の40.9℃が記録され、熱中症に対する社会的関心が高まったことを受け、総務省消防庁では平成20年から、全国の消防本部を対象として7月から9月の夏期における熱中症による救急搬送状況の調査を開始しました。

その平成20年には全国で約2万3千人が熱中

症で救急搬送されましたが、年々増加していき、平成30年には約9万5千人と急激に増加し、その後、令和の時代に入ってから一旦減少しましたが、令和4年から再度増加して、令和6年には過去最多の約9万7千500人が搬送されています。

気象庁が発表した日本の気候変動2020によりますと、日本国内の過去100年間の平均気温は、1.24℃上昇したそうで、今後、21世紀末に向けて平均気温がさらに上昇した場合、猛暑日や熱帯夜の日数が大幅に増える予想となっていますので、今後も熱中症患者の搬送は毎年のように増えて行くと考えられます。そのため、広報ちょうしや消防本部のホームページに、熱中症の対応方法を掲載して、注意を呼び掛けています。

救急業務に係るその他の取組みとしまして、総務省消防庁では、マイナンバーカードを利用した救急業務の円滑化を目指しています。令和3年10月からマイナンバーカードを健康保険証として利用することが可能となり、令和5年4月からは全国の医療機関において導入が原則義務化されたそうです。

このシステムを救急隊員が使用して、傷病者の過去の受診歴や薬剤情報などの医療情報を閲覧することにより、搬送先医療機関の選定をスムーズに行うことができると期待されています。

なお、このシステムの利用は全国の消防本部で令和8年4月から本格運用を開始することが決まっております。現在は67カ所の消防本部において実証実験を行っています。このシステムは、傷病者がマイナンバーカードを作成したが所持していない場合や、所持しているが本人が拒否した場合、更には意識が無い傷病者で家族などの付添人がいない場合は、バッグや財布などの所持品から勝手に探す訳には行かないため、使用できませんので、便利なシステムではありますが、すべての傷病者に対応することは困難な状況です。

このように、消防本部では救急業務に関するいろいろな取組みをしていますが、配備しています救急車4台が、時間帯によっては4台同時に出動する場合があります。その場合に5件目の119番通報があった際には、隣接する旭市消防本部や香取広域消防組合の救急車が応援に駆け付けることとなりますが、距離が遠いため銚子市の救急隊より要請場所への到着に時間もかかります。

市民の皆さんや、市内に通学・通勤している方が、体調不良やケガをした時に、医療機関を受診するのは当然ですが、緊急性があるかどうかを考えていただき、救急車を呼ぶほどではないと思われる軽症の場合には、自分の車で行く、又は家族に乗せて行ってもらい、或いはタクシーを呼ぶなどの対応が可能であれば、救急出動が少しでも減ることに繋がり、それによって別の重症患者を救急車で搬送できれば、救命率の向上が期待できますので、救急車の適正な利用について、今一度考えていただきたいというのが消防本部からのお願いとなります。

なお、緊急性があると判断した場合には、遠慮することなく、すぐに119番通報していただきたいと思います。今度とも、銚子市消防本部では、銚子市民の安全・安心を目指して消防行政のサービスに努めて参りますので、御理解、御協力のほどよろしくお願いいたします。

つたない説明でしたが、以上で卓話を終了とさせていただきます。ご清聴ありがとうございました。



【出席報告】

会員総数34名 出席計算30名

出席21名 欠席9名

出席率70.00%

欠席：東君・東川君・村田君・中村君

大里君・佐藤君・信太君・森田君

吉原君

【M U】

3/16 RID2610 (富山/石川) 地区大会 金島君



【ニコニコ】

ニコニコBOX	¥ 4,000	計	¥351,000
スモールコイン	¥ 1,700	計	¥ 39,185
米山BOX	¥ —	計	¥ 32,958
希望の風	¥ —	計	¥197,900

次週 (3月26日) プログラム

創立記念例会

「オーストラリアに日本国の土地があるの知ってますか? 一カウラ事件」

杉山 俊明会員

お弁当：茂利戸家(鰻重)

※例会欠席される場合はご連絡下さい。